

令和3年4月15日

◎**金岡委員長** ただいまから、産業振興土木委員会を開会いたします。

(9時58分開会)

本日の委員会は、昨日に引き続き令和3年度業務概要についてであります。

《公園下水道課》

◎**金岡委員長** それでは、公園下水道課の聴取を行います。

(執行部の説明)

◎**金岡委員長** 質疑を行います。

◎**浜田委員** のいち動物公園の件ですが、地元で本当にこれはありがたい、コロナ禍でも、県外の方なんかよく車を拝見するし、むしろコロナ禍で地元の子供連れと、県内ですが多くの方が来ていると思います。その中で、先般、井上ワイナリーができたり、アクトランドを中心とした三宝山で今後さらに様々なことができるやに聞いていますが、そのところ香南市等と連携するという状況は、何かあるのでしょうか。

◎**大野公園下水道課長** 関連する、特に井上ワイナリー等々の話を今聞かせてもらってる途中です。もちろん都市公園は、いわゆる都市計画を打ってる区域なので、それらも踏まえて将来的な計画を見据え、協力できるところは、できるだけ協力をしていきたいと考えています。

◎**浜田委員** あそこは出口に龍河洞もあって、物部川流域の本当に中心的なスポットになるポテンシャルがあると思うし、その中でも日本一という称号のある、のいち動物公園は役割が非常に大きいので、協力してぜひ前に進めてもらいたいと思うのでよろしくお願ひします。

◎**上田(周)委員** 下水道事業は、県内の幾つもの河川の水質を保全していくということで大変大事な事業だと思ってます。さっき農業集落排水施設のことで、課長から17市町村で42地区あるという説明があって、当面する課題が老朽化という中で、この42地区の施設を円滑に維持管理していくには、加入率も大事で、その状況と、それから合併処理浄化槽の設置状況というか、県内のいわゆる山間地を回って、最近結構、合併処理浄化槽に切り替える御家庭が多いように感じますが、順調に進んでいるかどうか。それから議会でも度々質問も出ますが、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替え、そこら辺りの状況を教えてください。

◎**大野公園下水道課長** 農業集落排水施設の加入率については、今手元に資料がないので、また後日補足いたします。合併処理浄化槽、特に単独処理浄化槽から合併処理浄化槽に向けての取組ですが、合併処理浄化槽を個人が設置するときには補助を国、県、市で行い、個人の負担金をなるべく少なくする取組を、これは津野町を除く全県下の市町村で行って、津野町については、地域の集落を取りまとめて合併処理浄化槽で処理を行う取組を

進めています。各市町村に対しては、その取組を促進するように担当者会議等で促しているところです。

◎上田（周）委員 単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ切り替えたら、結構敷地のスペースの問題とかもあるので、その辺現場で市町村を通じてやっていただき、少しでも進むようによろしくお願いいたします。

◎橋本委員 この経営戦略策定については、今年から10年間ということで、多分、前の委員会でいろいろ審議をしてしっかりチェックをしてもらってつくられたとは思いますが、ただ、人口がどんどん減ってくる。先ほどちょっと上田（周）委員も言いましたが、加入者そのものも少なくなってくる。それに絡んで、施設の経年劣化がどんどん激しくなって、修繕費用も見てみるとかなり上がっていく状態には多分なっていくだろうと。それに対して、その残渣を使った発電事業とかいろんな形で、多角的にこのものを埋めていきたいその計画だと思います。ただ、これは特別会計なので、基本的には独立採算的な形が本当は望ましいと思うんですが、補填財源があるから、例えば加入者の使用料を上げていくとか、そういう形がこの計画の戦略の中に入ってるのかどうか。要は収入と支出のバランス感覚がめちゃくちゃ違うと、持ち出し分がかなりたくさんそちらのほうに投入されることになるので、そういうことについてどのような枠組みで戦略的なものをこさえているのか、大枠でいいから教えてください。

◎大野公園下水道課長 維持管理負担金の特に見込みです。現在、汚泥処理を消化設備というのをういてボリュームを減少したり、その消化設備の中でメタンガスを発生させて、それを売電するような取組をこの4月からスタートしたところです。この経営戦略自体が、その先のところまでは全て含まれていませんが、今各種計画を策定することを話しましたが、そういう計画が整った段階で経営戦略も併せて見直していくように考えています。これは高知県流域下水道なので、大きな農業集落排水施設とかではなくて、特にこれは東部の香美市、南国市、高知市に対する流域の下水道の計画の策定になるので、そこの県民、市民の下水道の負担金がやみくもに上がらないように、もちろん取り組んでいきたいと考えています。

◎橋本委員 課長が言った最後のとおりのんですが、何を言いたいかというと、基本的にはこれだけ人口が減ってくると使用者も少なくなって使用料も入ってこない。でも経年劣化をして施設は古くなり、修繕していかなきゃならん、事業としてB/Cがどうなのかっていう問題なんかもやっぱり出てくると思うんです。だからそういう面では、できるだけ先ほど言ったようなメタンガスを使った売電事業とかいろんなことを工夫しながらできるだけ補填財源を使わないように、それから、使用者の使用料金を上げないようにぜひとも頑張っていただければありがたいと思います。

◎金岡委員長 それでは質疑を終わります。

先ほどの農業集落排水施設等の資料の提出をよろしくお願いします。

以上で、公園下水道課を終わります。

### 《住宅課》

◎**金岡委員長** 続いて、住宅課を行います。

(執行部の説明)

◎**金岡委員長** 質疑を行います。

◎**横山委員** 空き家をシェアオフィスに活用する事業は、法を改正して政府が2年前ぐらいにやるようになりましたが、今、どれぐらいの市町村でどれぐらいの数が行われているのか。令和3年度どれぐらいの数を見込んでいるのか、その状況、また今後の展望を教えてくださいと思います。

◎**大原住宅課長** シェアオフィスの整備については、令和2年度の9月補正で予算化しており、令和3年度では28室を予算化しています。市町村の数については正確な資料がありません。後ほどお持ちします。

◎**横山委員** 分かりました。

法も改正されて、地域の空き家もシェアオフィスにどんどん使っていく。除却と同時にやっぱり利活用、リノベーションも今後重要な課題だろうと思うし。農家が応援で農業に来てもらうときにシェアオフィスを使ったりとかいう事例もあるみたいだし、今後また進めていってほしい。できるだけ多くの市町村で使ってもらえるようになればいいと思います。

あと、テレワークに使える、テレワークで改修する住宅関係の支援制度も新しくできてるんじゃないかと思うんですが、その辺の状況はどうでしょうか。

◎**大原住宅課長** 先ほどの令和2年度9月補正で同じように予算化しているので、これは令和3年度も同じように取り組んでいきます。令和2年度は2つの市町村でやるようになっていて、ただ、時期が遅かったので繰り越して今年度本格的に動き出す状況になっています。

◎**横山委員** 昨日観光振興部とも話したけど、これからワーケーションとかテレワークとかいうものが重要になってきて、その中で個人個人で来て仕事をするときにテレワーク用のそういう空き家や部屋も、今後受入体制の中で重要な鍵になってくると思うので、市町村と連携して数を増やしていってほしいので、ぜひよろしくお願いします。

◎**大原住宅課長** 市町村、それから関係部局と連携してやっていこうと思います。

◎**橋本委員** 住宅新築資金の貸付けについてなんですが、この償還事業がどんどん市町村で始まって、サポートを県がすることになると思いますが、今のこの住宅新築資金の償還実態はどうなってるのか。見ると、この取組については、かなり市町村ごとに温度差があって、その辺はどういう状態なのか教えてください。

◎大原住宅課長 おっしゃるとおり市町村ごとに温度差があって、滞納の多いところもあります。南国市なんかは滞納の整理をして、ほぼ償還が終わりかけてると聞いているし、通常の償還については令和3年度が最終年度になります。あとは滞納の整理ということで、滞納率の低いところは50%ほどになっています。県下全体で見ると92%程度になっており、全国平均よりはちょっと下というレベルなので、滞納をなくす取組とか市町村の指導は、年1回担当者会議を開いて市町村に技術支援を行っています。

◎橋本委員 同和対策事業の一環でこういう事業があって、それを使って地域改善がかなり図られたことはあるんだろうと思いました。その改善が図られたお金が国から出て、その国から出たお金を市町村がそれぞれ肩代わりをして払う。結局、その債権が回収できなければそれが市町村の出し分になってしまうということで、かなり高額なお金がそういう状態で不良債権化されてあるんだろうと、私債権なのでなかなか難しい手続きとかいうものが私はあると思うんです。一体、高知県全県で不良債権化されてるのがどれぐらいあるのか。今ちょっと九十数%って言いましたが、それが全国並みですよみたいな話ですが、ただ、どうなのか。これ金額が莫大だと思うんで、その辺はどうなのでしょう。

◎大原住宅課長 今現在、滞納の全体額は持ち合わせてないんですが、どうしても回収ができない債権については県と国で市町村のほうに補助金を出して債権を肩代わりするような補助制度をやっているんで、どうしても回収できない債権についてはそれを積極的に利用するよという指導を行っています。

◎橋本委員 まさにそこに行き着くんだろうと思います。回収が困難になっている事案は、この債権そのものにたくさんあるという実態はよく分かってます。土佐清水のほうでもかなりこの債権が残っていて、1億円近い。でも、そういうことを一生懸命担当がやればそれが全部消化されるわけです、今さっきの国と県のそういう制度を使わせてもらえればですね。だから、そういうことをしっかり取り組んでもらわなければ市町村ができないじゃないですか。だから、そういうことに対してもっとアウトリーチに仕掛けていくことをやらなければこれは終わらないですよ、いかがですか。

◎大原住宅課長 おっしゃるとおりだと思っており、県としても回収のできない債権については積極的に使うよという話をしていますが、改めて、担当者会等も含めて利用を促すように取り組んでいきたいと思っています。

◎上田（周）委員 経済の活性化につながるということで、今高知県挙げて県産木材の活用をすると、関西戦略の中でも万博・IRの整備に関連してそういう県産木材の活用を進めていく中で、県内でも、個人の住宅に県産木材を使ったら、その立米当たり何か補助制度があると思いますが、その辺り。最近特に高知市内は、マンションの建設が結構多い中で、最近の個人の住宅の建築状況と、そのうち今言った県産材を使った住宅がどれぐらいなのか、今分からなければ後で資料を頂きたいのですがどうでしょうか。

◎大原住宅課長 県内の住宅というか、建物の着工件数は年間3,000棟ぐらいで、ここ数年推移していますが、木造の住宅が幾らとかいう数字は今持ち合わせていないので、後で報告します。先ほど言われた補助金についても、林業振興・環境部で所管しているので、実態を調べてお知らせします。

◎上田（周）委員 結構そういった制度があることを知らない方が多いと思うので、また課を横断してよろしくをお願いします。

◎大原住宅課長 林業振興・環境部とも連携して、より広報に努めていきます。

◎金岡委員長 質疑を終わります。

住宅課を終わります。

#### 《建築指導課》

◎金岡委員長 続きまして、建築指導課を行います。

（執行部の説明）

◎金岡委員長 質疑を行います。

（なし）

◎金岡委員長 質疑を終わります。

これで建築指導課を終わります。

#### 《建築課》

◎金岡委員長 続きまして、建築課を行います。

（執行部の説明）

◎金岡委員長 質疑を行います。

◎今城副委員長 営繕積算システム等作成委託経費ですが、以前、コンクリートの単価に10倍以上の単価を入れた積算ミスがあったんですけど、そういう異常なデータをチェックするようなシステムになってるんですか。

◎西本建築課長 現在のシステムでは、異常な数値をそのままチェックすることはできないことになっています。システムで自動的に入力される数値については正しい数値が入るんですが、どうしてもシステム以外に、職員が手入力しなければならない項目があり、それについては書類の決裁の時点で手入力したものを分かるようにしたもので、職員がダブル、トリプルチェックをしていくことで対応している状況です。

◎今城副委員長 人間、ミスはどうしても避けられないので、機械的に補助できるようなシステムに少しでも進むようによろしくをお願いします。

◎金岡委員長 質疑を終わります。

これで建築課を終わります。

#### 《港湾振興課》

◎金岡委員長 続きまして、港湾振興課の聴取を行います。

(執行部の説明)

◎**金岡委員長** 質疑を行います。

◎**武石委員** 高知新港の高台の企業誘致の説明で、2.8ヘクタールのうち6割について立地協定したという話でよかったと思うんですが。これまでも企業誘致に随分県も努力してもらいましたが、私が調べたところによると盛土なんで、くいを打たなくちゃならん、その経費もかかるとか。だから発災時にはサプライチェーンが寸断されるという懸念もあって、なかなか企業立地が見通せなかったんです。協定を結ばれたということですが、どういう業種がどういう用途で使われるのか、構わない範囲で聞かせてください。

◎**藤井港湾振興課長** 業種でいえば運送業で、倉庫ではなくてターミナルの計画と今伺っています。

◎**武石委員** そしたら、高知新港も有効に使ってもらえる流通ターミナルというイメージでいいんですか。

◎**藤井港湾振興課長** 今はまだそこまでの具体的な計画を伺っていませんが、将来的にはなるかも分からない。現在はターミナルに入った荷物を扱うのに港の関係の流通業者が入らないといかんけど、今はその流通業者と提携してやっていることは伺っています。

◎**横山委員** 客船誘致ですが、かなり高知県は力を入れて外国船を入れてて、経済的な効果はかなり大きかったと思うんですけど。外国クルーズの寄港がコロナによって中止になったことで、高知県の経済的な損失というのはどれぐらいのものがあるのか、聞かせてもらえますか。

◎**藤井港湾振興課長** 令和元年の経済波及効果は、5億8,580万円ほど予定していました。令和2年度は580万円ということで、約6億円弱減少してます。

◎**横山委員** これからこの国際線の在り方はどうなってくるのか。先日、早期再開を目指していくと9社ぐらいで国際クルーズ協議会を立ち上げたということですが。高知県として、インバウンドがまだ2年から3年ぐらい先にならんと元の状況に戻らんと言われてる中で、この国際線とどう向き合っていくのか。その辺は今分かる範囲で、当然、受入地の高知市とも連携して考えないかんと思うけれど、今後のクルーズ船に対する高知県の向き合い方というか、現時点でどのように考えているのか聞かせてください。

◎**出水港湾振興監** 外航クルーズ客船については御指摘のとおり、まだ外国からの旅客が来ることができないことから回復は少し時間がかかると思われます。とは言いつつも、回復した際に高知新港に来てもらうために、積極的な宣伝はやっていく必要があると思います。またそれ以外にクルーズ客船については、国内のクルーズ船がまず国内だけを限定して運航しているところです。その中で、まずは国内の方々に高知新港を目いっぱい利用してもらう必要があるので、高知新港をできるだけアピールしていきたいと思っています。今年度の見込みについても12船で、当初の予定を超える予約状況です。外航客船の見込み

については、コロナの状況もあるので、少し長い時間をかけて見ていかなければならないですが、クルーズの振興をより進めて高知県内の経済効果を少しでも回復していきたい。そのために取り組んでいく状況です。

◎横山委員 来るべきアフターコロナに向けて、しっかり受入体制を今から整えていってもらいたいと思ってますし、これは何も土木部だけの問題じゃないんで。当然、観光振興部とか産業振興推進部とか様々な部局と連携して、このクルーズ船は高知の顔になっていたので、ぜひまた復活することを私も期待してます。どのような方策があるか、また検討してもらいたいと思います。

◎今城副委員長 関連で、高知新港だけでなく、宿毛湾港もあしずり港もぜひよろしくお願いします。

◎出水港湾振興監 高知新港に限ることなく、高知県全体の経済の浮揚に向けて取り組んでいきたいと思います。

◎武石委員 I N A P ですが、私も何回か参加して、高知県の企業も経済ミッションとして参加されて、いろんな国の方々と交流が持てる非常に貴重な機会だと認識しています。コロナで大変なことは理解しますが、できるだけ早期に再開して、また経済が活性化するように取り組んでもらいたいと思うのでこれは要請です。

◎金岡委員長 質疑を終わります。

以上で、港湾振興課を終わります。

#### 《港湾・海岸課》

◎金岡委員長 続きまして、港湾・海岸課の聴取を行います。

(執行部の説明)

◎金岡委員長 質疑を行います。

◎吉良委員 浦戸湾の三重防護についてですが、予算を見ると「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」も100億円を超してるということで、それも関わって増えてるかと思うんですが。その三重防護に関わる予算全体の額と、現時点における予算ベースでの進捗状況、もう一つは箇所付けによる進捗状況をちょっと示していただけますか。

◎吉永港湾・海岸課長 三重防護の状況ですが、まず、海岸と港湾に分かれており、海岸の部分については全体事業費で640億円となっています。現在の進捗率については、国と県合わせると約30%ぐらいとなっています。予算については、約28億円ぐらいついているので、確実に進捗は図られてると思っています。

◎吉良委員 箇所づけというのは何かできるんですか。県民にとってみたら何か所ぐらいがあって、そのうちこれぐらいの箇所が済んでるみたいなことだと分かりやすいと思うんですが、それはどのようなことになってますか。

◎吉永港湾・海岸課長 箇所づけについては、その港ごとと、海岸ごとにしかついてきて

なくて、例えば今やっている潮江地区が幾ら、吸江地区が幾らとかいう形のさび分けの箇所づけ方針はありません。ただ、現在進めている潮江地区については、令和7年度までには完成したいと進捗を進めています。

◎吉良委員 あと総額が出たんですが、一層から入り口の二層、それから内陸の三層、それぞれの予算額と進捗状況も今分かりますか。

◎吉永港湾・海岸課長 それぞれの進捗という形では分けてない状態で、先ほど言った国と県の進捗状況ぐらいしか分かりません。

◎吉良委員 県民の関心を高めるためにも、今どういう状況なのかが、ホームページとか、県のさんSUN高知なんかで時々分かるようにしていけば、より防災の意識が高まるんじゃないか、興味も持ってもらえるしね。そういうことも含めて県民への周知啓発を含めた取組として考えてもらいたいんですけど。

◎吉永港湾・海岸課長 進捗状況については、国土交通省の高知港湾・空港整備事務所のホームページで進捗率として掲示はしていただけてますが、県のホームページはリンクを張ってる状況であまり見られてない部分もあるので、今後どういう見せ方ができるのかも検討いたします。

◎浜田委員 手結港海岸緑地公園、ヤ・シィパークの件ですが、今、香南市もあそこを観光の中心的な場所としてやっており、サイクリングを中心とした観光を売り出そうとしていますが、半分は県のものということで、香南市との連携は、どのような状況でしょうか。

◎吉永港湾・海岸課長 その緑地公園の活用方法については、今、協議会で立ち上げたランドデザインがあります。それについて、株式会社ヤ・シィ、あとは香南市、県、あと県の観光振興部と産業振興推進部が入って協議会を進めて、まず何ができるかを検討しているところです。

◎浜田委員 先ほどのいち動物公園でも言いましたが、あそこが香南市の西の中心で、東の中心が夜須という位置づけで非常に重要な地点なので、ぜひ協力していただきたいと思っています。よろしくをお願いします。

◎金岡委員長 質疑を終わります。

以上で、港湾・海岸課を終わります。

ここで、公園下水道課と住宅課が説明をしたいという申出がありましたので、受理をいたします。

#### 《公園下水道課》

◎金岡委員長 公園下水道課からいきます。

◎大野公園下水道課長 先ほど質問いただいた件について、回答します。

まず、1点目が農業集落排水施設への地域の加入率の話です。令和元年度末時点での加入率は70.4%となっています。



もう一つ、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換の状況という質問をいただきました。平成29年度から令和元年度の3か年の平均値で言うと、単独処理浄化槽の廃止の基数が年間231基。あと、231基のうち農業集落排水、また下水道への接続が173基。単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換をしたのが年間平均で28基になっています。残る30基については、家屋の廃止等によるものになっています。

#### 《住宅課》

◎**金岡委員長** 続いて大原住宅課長。

◎**大原住宅課長** 先ほど質問いただいた件について、回答いたします。

まず、シェアオフィス補助を活用する市町村の数ですが、令和3年度は4町村です。

それから新築資金の滞納額ですが、令和元年度の数字は県下全体で、滞納額約25億4,100万円になっています。滞納額の多い市町村としては、高知市が一番多くて約2億8,500万円という数字になっています。

それから、こうちの木の住まいづくり助成事業の活用実績は、令和2年度に新築で276件、改修で15件で、計291件の実績があったということです。

もう一つ、令和元年度の住宅の建設戸数ですが、令和元年度の住宅、鉄筋コンクリートとか全て、マンションとかも含めて3,234戸の建設があり、そのうち、戸建ての木造住宅に限ると1,792戸の建設がありました。

◎**金岡委員長** 高知県の土木部は特に、やはり災害対応というのは非常に多い。要するに、命の道、治山治水、そして津波、地震対応ということで大変苦勞されていると思います。県民の命を守るということで、密接に関係しているところなので、より効率的に、なおかつ公平というか、全体の底上げを均一にするような形で進めていただきたいと思うので、またよろしくお願ひ申し上げます。

以上で、土木部を終わります。

以上で、全ての日程が終了いたしました。

なお、5月11日からは出先機関等の業務概要調査が始まります。11日は午前9時から、この第二委員会室で最初の観光コンベンション協会からの説明を受けることとなっております。よろしくお願ひいたします。

以上で、委員会を閉会いたします。

(11時25分閉会)